



巻頭特集 ねこカフェ New Journey

「保護ねこ」って、 どんなねこ?

今やペットを飼っている割合が4世帯に1世帯というほど
人間と動物との生活が当たり前になっている一方、
飼育放棄により捨てられたり、野良猫となって殺処分にあつたりなど
悲惨な最期を迎える動物が増え続けています。
そんな動物たちのなかでも「保護ねこ」にスポットを当てて、
保護ねこの救済活動を目的とし
9月に春日井市高山町にオープンした
「ねこカフェ New Journey」さんにお話を伺いました。



自分の将来を考えるように
ねこの未来を想うことが「保護ねこ」を救う。

「あつたためて保護ねこの悲惨な現状を知り、ますます活動に注力する中で、しばしば心無い言葉に傷ついたことがあつたそうです。

「自家の敷地に迷い込んで来たねこに餌をあげていた人がいました。可愛がつていていたので去勢・避妊手術をお願いすると、お金がかかるから嫌だと拒否。その後、子ねこが生まれたから引き取つて欲しい」ということで、再度親猫の手術を提案しましたが、同じ理由で手術はしたくない…そんな押し問答が何度も繰り返され、どうにもできなかつた経験があります。



月、本格的に譲渡活動がスタートしました。11月1日時点では、正式譲渡に至った保護ねこが3匹、譲渡に向けてトライアル中のねこが4匹でしたが、吉田さん夫妻の最大の目標は1つ。「このカフェにいる子たちを全員“卒業”させること」と話します。

吉田さん夫妻がねこカフェのオープニングに踏み切ったのも、我が子のように大切な保護ねこたちの里親をひとりでも多く見つけたい、その一心からでした。譲渡こそ、ご自身たちの一生をかけた使命だという思いで、譲渡をお考えのお客様はもちろんカフエを訪れる

また、中津川で活動していた地域は、TNR（地域ねこ活動）という野良猫に適切な手術を施し、元の場所に返し、自然死を全うしてもらうエリアでした。そのTNRのねこの1匹が、とある住居に迷い込み、車の上に乗つてしまつた際にも理不尽なことを言われた時もありました」。

**新たに生きる場所と
家族を見つけるカフェでありたい。**

**新たに生きる場所と
家族を見つけるカフ**

や吉田さん夫妻の存在が、一
心できる場所、人でありたいと
いいます。保護ねこたち一匹一匹に愛情を
トライマや環境の変化で閉ざ
心も開いてきた吉田さん夫妻。
か好きな方、触れ合いたい方、
人が気になる方も一度足を運
「保護ねこたちの新しい旅立
心援したい」と心から実感する
みなさんも応援団の一人にな
せんか?

様に対しても、ねこカフェ
W Journeyで暮らす保
育してきた想いを丁寧に話
します。また、正式譲渡に向か
うアル期間中も、新しい家族の
立派な猫として暮らすことを
して、「些細なことでもいいの
うたらまず僕たちに必ず連絡
くださいね」と声掛けをされて
吉田さん夫妻。ねこたちが幸せ
期を全うするまで飼い連続的
さと喜びを知っているからこ
んない飼い主さんたちにとって、

の吉田さんも大きな影響を受けた
県中津川で保護・譲渡活動している団体です。

NPO法人 命の応援隊
詳しくはホームページをごらんください。
<http://inotiouen.exblog.jp/>



ねこカフェ New Journey
春日井市高山町3丁目17-13

▼最新情報はホームページをチェック!
<https://nekoafe-new-journey.jimdo.com>
【ねこカフェ New Journey】で検索

A black silhouette of a cat's head and upper body, facing right.

「保護ねこ」たちが行き着く先を知っていますか？

真っ白な外観に大きな窓。暖かな光が差し込む店内でのびのびと居心地よさそうにねこ達が遊んでいる場所があります。今年9月14日、春日井市高山町にオープンした「ねこ力 フィンエフJourney」です。力エフを訪れるお客様に甘え、すり寄り、遊びをせがむ愛らしいねこたち。その様子を我が子のように見つめるのは、カフェの代表である吉田哲也さんと、店長を務める吉田恵子さんご夫妻です。開口一番、代表の吉田さんは「一見、人懐っこいように見えますが、実は全員、ラウマを背負っている『保護ねこ』なんですね」と話し始めました。

「保護ねこ」とは、飼育放棄されたり、虐待を受けていたりといつた様々な事情で飼い主から捨てられた居場所を失い、保健所や動物愛護団体、動物病院などによつて保護されたねこたちのことと言います。中には、去勢や避妊手術がされぬまま捨てられるケースも少なくなく、野良猫となって子どもを生み、その子ねこたちもまた保護の対象となっています。保護ねこたちにとって、心から安らげる居場所や家族を見つける、いわゆる「譲渡活動」には、多くの動物愛護団体やNPOなどの方々が取り組み、各地の保健所でも「殺処分から譲渡の道」を目指しています。日々地道な譲渡活動によつて、年間、多くの保護ねこたちが新しい飼い主のもとで暮らしてます。



代表 告田 哲也さん

店長 吉田 車子さん

